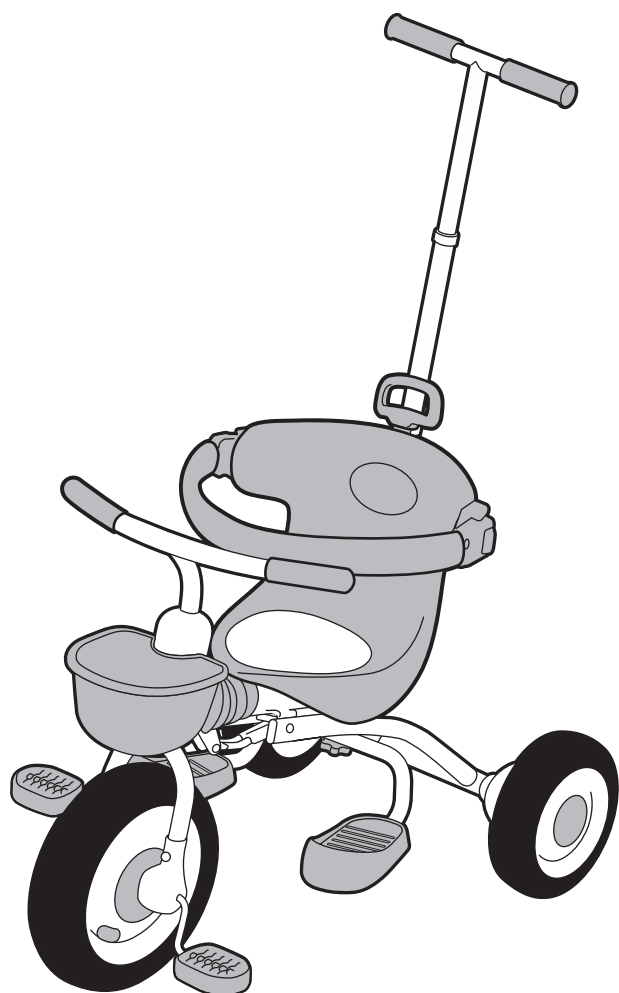


ides

秒でたためる三輪車

取扱説明書



目次

①定義とシンボルマークについて	P1
②安全上の注意事項	P2
③各部の名称	P2
④梱包内容	P3
⑤組み立て方法	P3
⑥折りたたみ状態にする方法	P4
⑦使用状態にする方法	P4
⑧安心ガードの操作方法	P5
⑨ステップの取り外し / 取り付け方法	P5
⑩コントロールバーの伸縮 / 取り外し方法	P6
⑪ロック&フリーの取り扱い	P7
品質保証書	P8

お買い上げいただきまして誠にありがとうございます。この取扱説明書は必ずお読みいただき安全上の注意事項を良くご理解の上、商品をご使用ください。不適切な取り扱いは事故につながる恐れがあります。また、本書をいつでも参照できるように大切に保管してください。

1 定義とシンボルマークについて

この取扱説明書では以下のような内容が「警告」、「注意」として記載されています。



警告

身体に関する危険

守らないと人身事故が発生したり、創傷や火傷の可能性がある。

注意

財物や商品本体に関する危険

守らないと財物や商品本体に損傷の可能性がある。

② 安全上の注意事項

【ご使用されるお客様へお願い】

本商品は公園等、屋外での使用を前提に企画されております。人通りの多いところでは、人にぶつかる等思わぬケガの原因となることもありますので十分ご注意ください。店舗等におけるご使用につきましては、その店舗の運営者にご確認の上ご使用されるようお願い致します。



- SGマーク制度は三輪車の欠陥によって発生した人身事故に対する補償制度です。
- この商品はSG基準により安定性、走行性、耐荷重、耐衝撃に合格した商品です。
- ご購入日より二年間の対人賠償責任保険がついていますので、安心してお乗りください。
- 対象年齢：1.5才～4才11ヵ月頃まで 身長目安：80cm～100cmまで
乗車体重：20kgまで



- 安心ガードは、SGマーク制度対象外です。
- PLI制度はSGマーク制度対象外の製品及び部品の欠陥によって事故があった場合に補償する当社固有の制度です。

警告



おとなといっしょ



みずにぬらさない



ひにちかづけない

- 初めて乗るお子様は、保護者の方が使用上の注意を指導し、保護者のもとで遊ばせてください。
- お子様の足は地面およびペダルまたはステップに確実につくことを確認してから使用してください。
- ご使用の際は、必ずお子様に靴を履かせてからご使用ください。裸足で使用すると隙間等で思わぬケガをする恐れがあります。
- 坂道での使用は避けてください。
- 交通の頻繁な道路、車両交通の多い場所では使用しないでください。
- 2人乗りなどの危ない乗り方は絶対にしないでください。
- 車輪の周囲や回転部分、または折りたたみ部分には手や足を入れないでください。
- 斜面および段差のある場所、転落の恐れのある場所では乗らないでください。
- 三輪車は構造上、ハンドルを切ったとき、ペダルを踏み込んだときに転倒することがあるので注意してください。
- お子様を乗せたまま三輪車を持ち上げないでください。
- お子様の足がペダルにのっている場合、コントロールバーの操作で無理な力を加えないでください。
- 小さな部品があり、誤飲の危険があります。組み立てや部品の取り外し作業はお子様がそばにいない状態で行ってください。
- 業務用・団体用で使用しないでください。
- 三輪車以外の目的では使用しないでください。
- コントロールバーで操作する際は過度の荷重をかけたり、急な操作はしないでください。
- コントロールバーとステップは自走できないお子様のための補助具です。自走できるようになりましたら必ずコントロールバーとステップは取り外してください。
- お子様にコントロールバーを操作させないでください。
- コントロールバーの操作は必ず保護者の方が行い、お子様の足が巻き込まれないように注意してください。
- コントロールバーを付けた状態で使用するときには、必ずステップを使用し、ロック&フリー機能をフリーの状態にしてください。
- お子様がサドルに立ち上がらないように注意してください。また、コントロールバーに寄りかかると倒れる恐れがありますので十分に注意してください。
- コントロールバーに物を掛けたりすると倒れる恐れがあるので、物を掛けないでください。
- 折りたたみ、使用状態にする操作の際、指や手をはさむ危険があります。操作は保護者の方が行い、お子様にはさせないでください。
- 素材特有の臭いがある場合があります。気になる場合は使用前に風通しのいい場所にしばらく放置してください。

注意

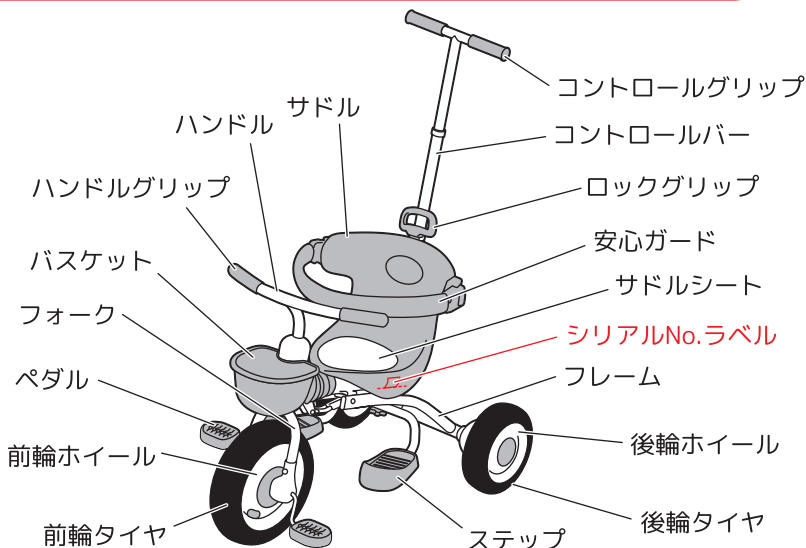
- 使用前には必ず手入れ、点検を行ってください。故障および破損したまま使用しないでください。
- 長い間の使用でネジがゆるむことがあります。お手数でも締め直してください。
- 屋外で使用された後は直射日光を避け、雨ざらしにしないでください。
- 火気のある所、高温の場所には近づけないでください。
- 砂場や水たまりで使用しないでください。

※本書には上記以外にも各操作に応じた「警告」、「注意」が表記してありますので、そちらもお読みください。

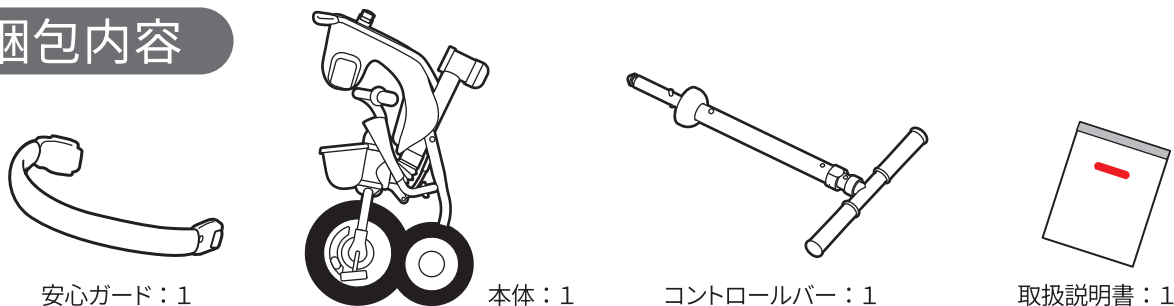
③ 各部の名称

【材質】

- フレーム：スチール
- ハンドル：スチール
- フォーク：スチール
- コントロールバー：スチール
- サドル：ポリエチレン (PE)
- バスケット：ポリプロピレン (PP)
- 前/後輪ホイール：ポリプロピレン (PP)
- ペダル：ポリプロピレン (PP)
- ステップ：ポリプロピレン (PP)
- ロックグリップ：ポリプロピレン (PP)
- 前/後輪タイヤ：EVA
- サドルシート：塩化ビニール (PVC)
- ハンドルグリップ：塩化ビニール (PVC)
- コントロールグリップ：塩化ビニール (PVC)
- 安心ガード：合成ゴム



4 梱包内容



安心ガード：1

本体：1

コントロールバー：1

取扱説明書：1

※タイヤの材質の特性上、輸送時の衝撃などで表面に凹みが見られる場合がありますが、問題なくご使用いただけます。

5 組み立て方法

組み立ては保護者の方が行ってください。

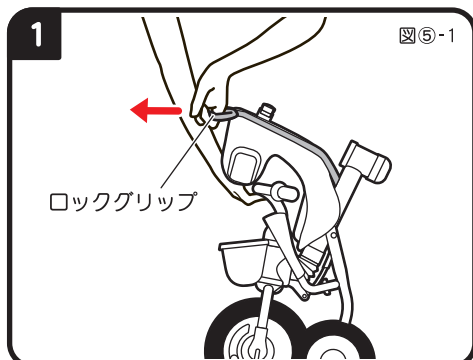


図5-1

- サドルの上部にあるロックグリップを引いてロックを解除します。

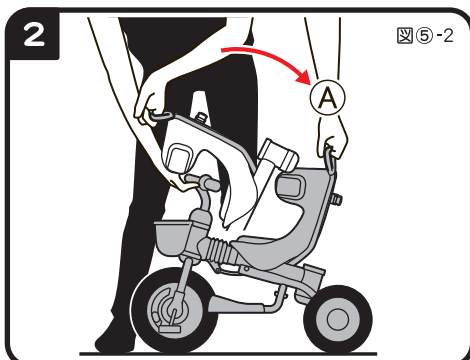


図5-2

- ロックグリップを引きながら (A) の方向に動かし、使用状態にしてください。
- サドルを動かすときは、サドルが落ちないようにしっかり持ち、反対の手でハンドルを支えながら両手で行ってください。

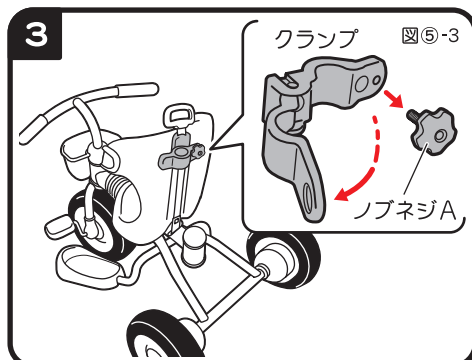


図5-3

- サドル背面のノブネジAを外し、クランプを開いてください。

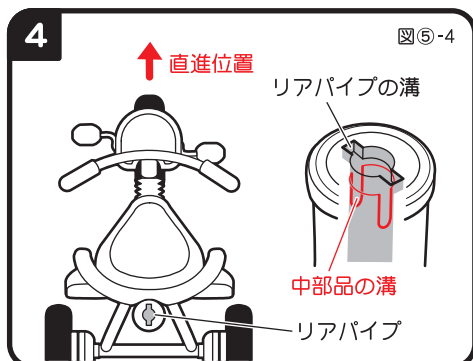


図5-4

- ハンドルを直進位置（左右に曲げない）にして、リアパイプの溝と中部品の溝が合っていることを確認してください。
- 溝がズレているとコントロールバーが入りません（ハンドルと中部品は連動して動きますので溝がズレているときはハンドルを動かしてください）。

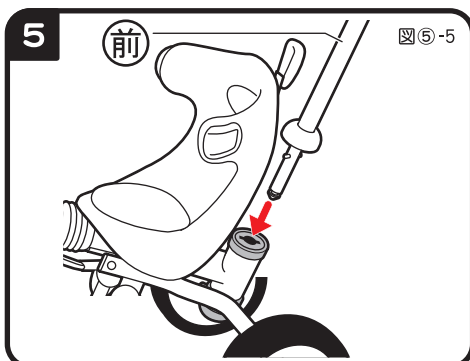


図5-5

- 前マークを前にしてコントロールバーをリアパイプにしっかり差し込んでください。
- 奥まで差し込むとコントロールバーがリアパイプにロックされます。
- 差し込んだあと、コントロールバーを上方向に引っ張り、抜けないことを確認してください。

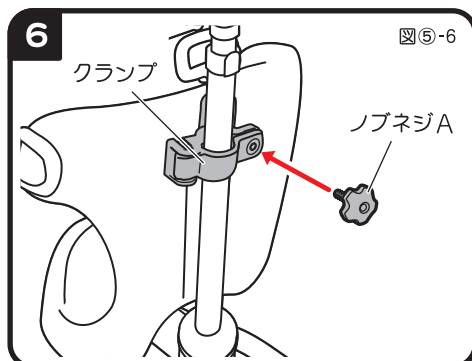


図5-6

- サドル背面のクランプでコントロールバーをはさんで、ノブネジAで固定してください。

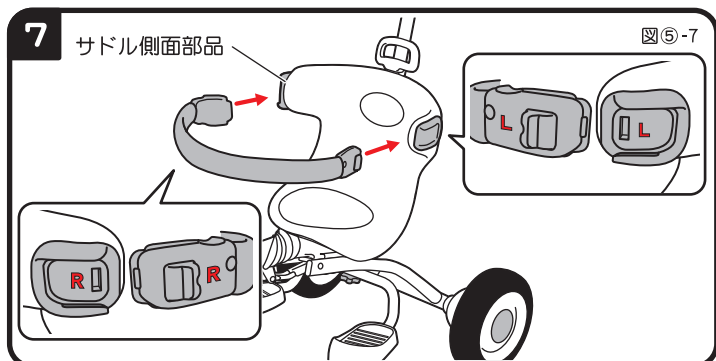
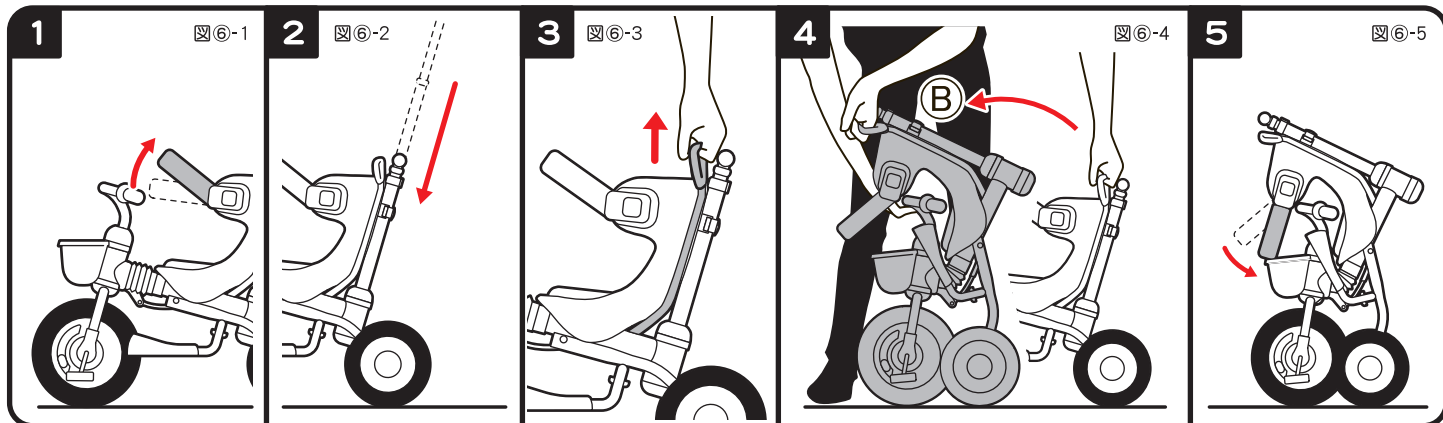


図5-7

- 安心ガードの両端をサドル側面部品の溝に差し込むように入れてください。ガード先端の刻印とサドル側面部品の「L」「R」を合わせて取り付けてください（両方の文字を合わせないと安心ガードを取り付けることができません）。

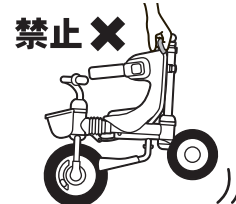
6 折りたたみ状態にする方法



- ・安心ガードを上げてください（安心ガードを上げずに折りたたみをするとうガードがハンドルに引っかかり、円滑な操作ができません）。
- ・コントロールバーを縮めてください。（【⑩コントロールバーの伸縮 / 取り外し方法】参照）
- ・ロックグリップを引き、ロックを解除します。
- ・ロックグリップを引きながら ⑥ の方向に動かし、折りたたみ状態にしてください。サドルを動かすときは、サドルが落ちないようにしっかり持ち、反対の手でハンドルを支えながら両手で行ってください。
- ・折りたたみ状態でロックされていることを確認してください。

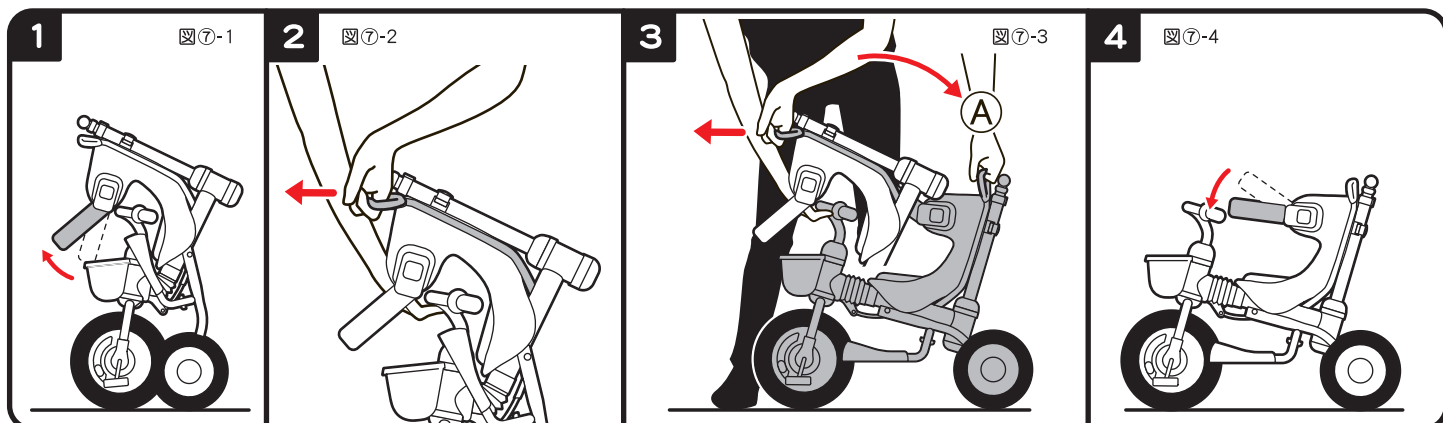
警告

- 折りたたみ操作の際、指や手をはさむ恐れがありますので十分注意してください。
- 折りたたみ操作は保護者の方が行い、お子様にはさせないでください。
- 折りたたみ状態にする際は、先にコントロールバーを縮めてください（【⑩コントロールバーの伸縮 / 取り外し方法】参照）。
- 折りたたみ操作を片手で行うと三輪車が不安定になり危険です。必ず両手で行ってください。
- 三輪車を折りたたみ状態にすると同時にロックがかかります。必ずロックがかかっていることを確認してください。
- 折りたたみ状態で自立させるときや保管するときは置く場所が平らであることを確認してください。傾斜した場所や凹凸のある場所に置くと転倒の恐れがあります。



- ロックグリップを持って三輪車を持ち上げないでください。破損する恐れがあります。

7 使用状態にする方法



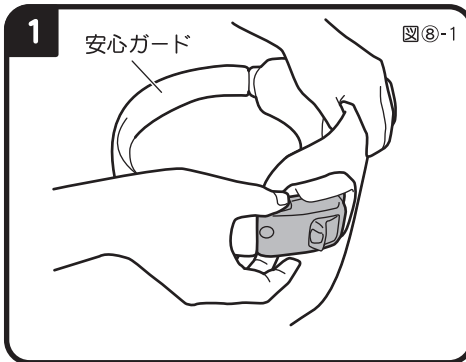
- ・安心ガードを上げてください（安心ガードを上げずに使用状態にするとガードがハンドルに引っかかり、円滑な操作ができません）。
- ・ロックグリップを引き、ロックを解除します。
- ・ロックグリップを引きながら ⑦ の方向に動かし、使用状態にしてください。サドルを動かすときは、サドルが落ちないようにしっかり持ち、反対の手でハンドルを支えながら両手で行ってください。
- ・使用状態でロックされていることを確認してください。
- ・安心ガードを下げてください。

警告

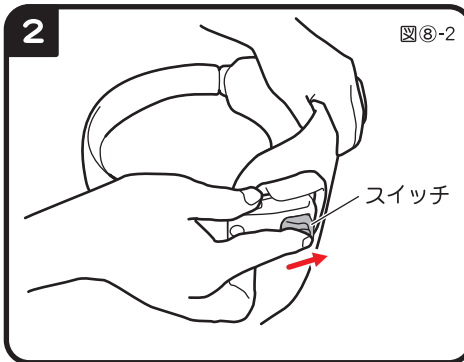
- サドルを下げるとき指や手をはさむ危険がありますのでサドルの下に指や手を近づけないでください。
- 使用状態にする操作は保護者の方が行い、お子様にはさせないでください。
- 使用状態にする操作を片手で行うと三輪車が不安定になり危険です。必ず両手で行ってください。
- 三輪車を使用状態にすると同時にロックがかかります。必ずロックがかかっていることを確認してください。

8 安心ガードの操作方法

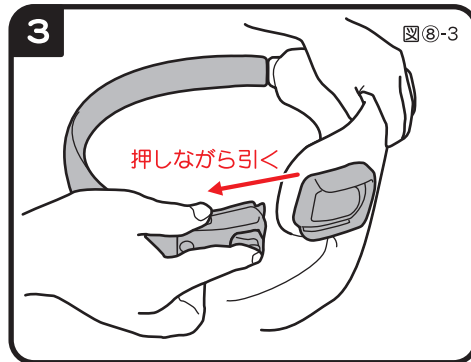
●安心ガードの開閉、取り外し



- ・安心ガードの先端の上下を図のようにつまみ、もう片方の手でサドルを支えます。

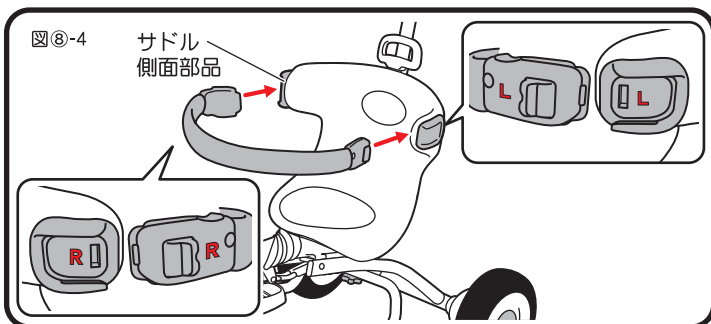


- ・安心ガードの先端のスイッチを後方に押すとロックが解除されます。



- ・スイッチを押したまま矢印の方向へスライドさせると安心ガードが外れ、開くことができます。
- ・反対側も同様にすると安心ガードが外れます。

●安心ガードの取り付け



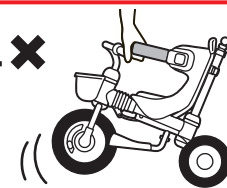
- ・安心ガードの両端をサドル側面部品の溝に差し込むように入れてください。ガード先端の刻印とサドル側面部品の「L」「R」を合わせて取り付けてください（両方の文字を合わせないと安心ガードを取り付けることができません）。
- ※【5組み立て方法 7】と同じです。

注意

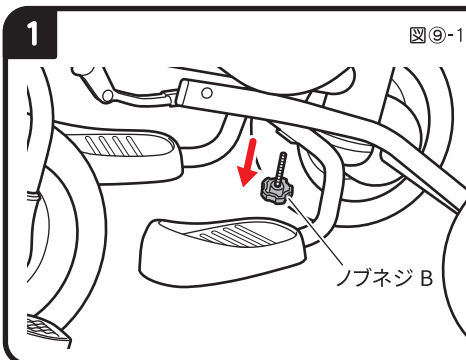
- 安心ガードの上に乗ったり無理な力を加えないでください。
- 安心ガードの開閉、取り付け / 取り外しは保護者の方が行ってください。
- 安心ガードの開閉、取り付け / 取り外しをする際は指や手をはさまないように注意してください。

- 安心ガードを持って三輪車を持ち上げないでください。破損する恐れがあります。

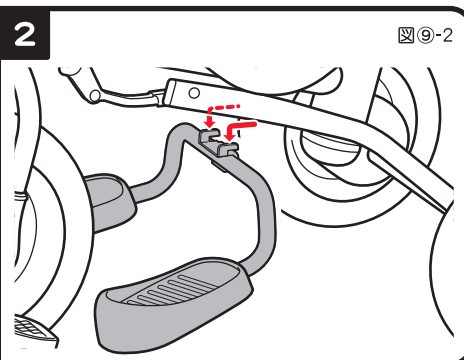
禁止



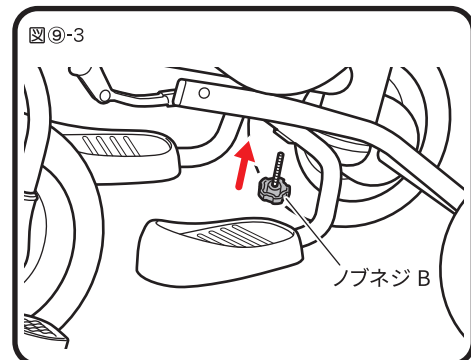
9 ステップの取り外し / 取り付け方法



- ・ステップのノブネジ B を外します。



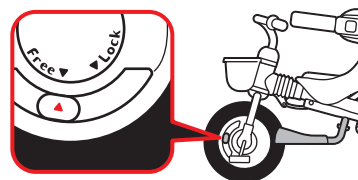
- ・ステップを前方へずらし、下へ下げるとステップが取り外せます。



- ・ステップを取り付ける際は逆の操作を行ってください。

必ず確認してください

- ステップをご使用の際は、必ず前輪のロック & フリー機能をフリーにしてください。ロックにしたまま使用するとペダルがステップにあたり破損する恐れがあります。
- ※ロック & フリー機能については【11 ロック & フリーの取り扱い】を参照してください。



警告

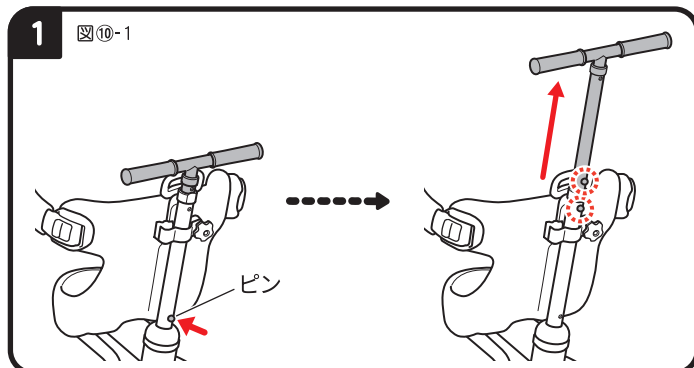
- ステップは自走できないお子様のための補助具です。自走できるようになったら必ず取り外してください。
- ステップの上に立たないでください。ステップは乗り降りするときの踏み台にしないでください。

注意

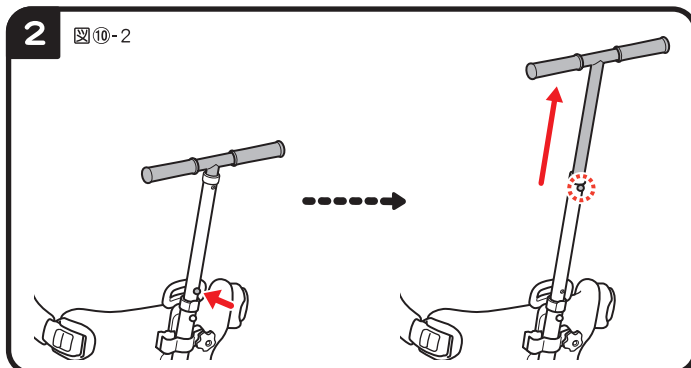
- ステップの取り外しは保護者の方が行ってください。
- ノブネジはしっかりと固定してください。
- 取り外した部品は、お子様の手の届かないところに保管してください。小さな部品はお子様が悪く誤って飲み込むなどの事故の恐れがあります。

10 コントロールバーの伸縮 / 取り外し方法

● コントロールバーを伸ばす(使用状態)

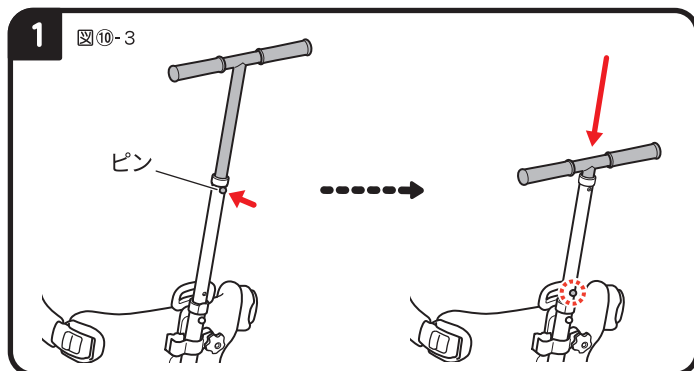


- ・コントロールバーの後ろの穴から出ているピンを押しながらコントロールバーを引き上げ、2つのピンが穴から出るまでスライドさせてください。

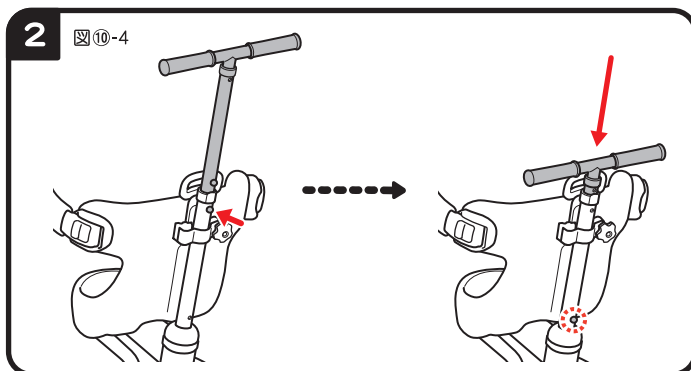


- ・2つのピンのうち、上のピンを押しながらコントロールバーを引き上げ、ピンが穴から出るまでスライドさせてください。

● コントロールバーを縮める(収納状態)



- ・コントロールバーの後ろの穴から出ている2つのピンのうち、上のピンを押しながらコントロールバーを押し下げ、ピンが穴から出るまでスライドさせてください。



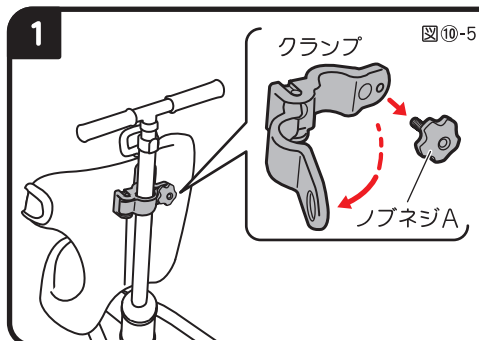
- ・2つのピンのうち、下のピンを押しながらコントロールバーを押し下げ、ピンが穴から出るまでスライドさせてください。

注意

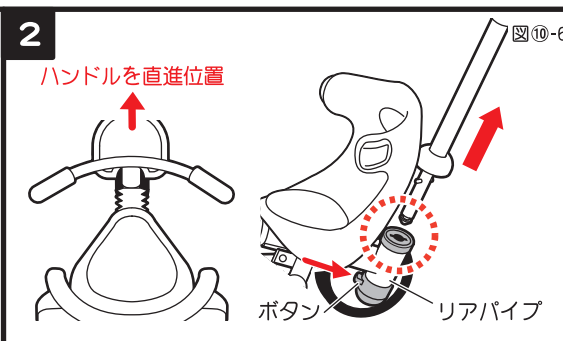
- ピンが穴から出ていることを確認して使用してください。ピンが出ていないと使用中にコントロールバーの上部が抜けてしまう可能性があります。
- コントロールバーをご使用の際は、前輪をフリー状態にしてください。
- コントロールバーのグリップ部分に荷物などを乗せたり、掛けたりしないでください。転倒の恐れがあります。
- 段差のある場所でのご使用は避けてください。また、壁などにぶつけないでください。
- コントロールバーのかじとり機能には左右にあそびがありますが、設計上のものであり、異常ではありません。

※ ピンは必要以上に押し込まないようにしてください。押し込みすぎると、パイプの中に沈み込んでしまう場合があります。

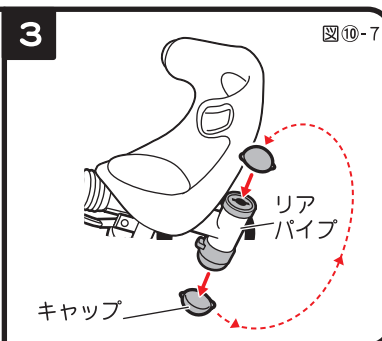
● コントロールバーの取り外し



- ・サドル背面のノブネジAを外し、クランプを開いてください。



- ・ハンドルを直進位置(左右に曲げない)にしてボタンを押しながらコントロールバーをリアパイプから引き抜きます。ハンドルを直進位置にしないとコントロールバーは抜けません。



- ・リアパイプ下側からキャップを外しリアパイプの上に取り付けてください。

警告

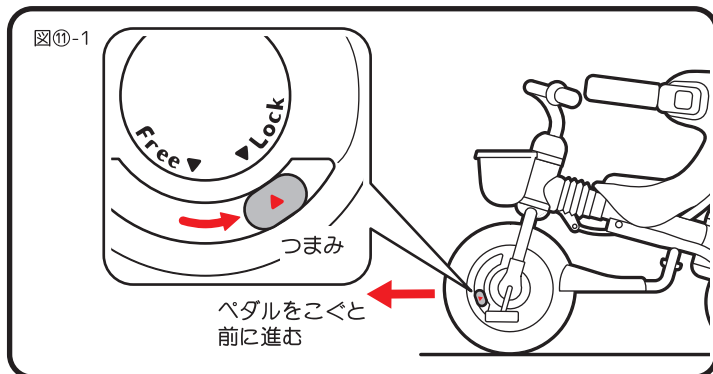
- コントロールバーを外した後はキャップを必ずリアパイプ上側に取り付けてからご使用ください。キャップを取り付けずに使用するとケガをする恐れがあります。

注意

- キャップの取り外し、取り付けは保護者の方が行ってください。
- 取り外した部品はお子様の手の届かないところに保管してください。部品をふりまわすなどして思わぬケガの原因になります。また、小さな部品はお子様が悪く飲み込むなどの事故の恐れがあります。

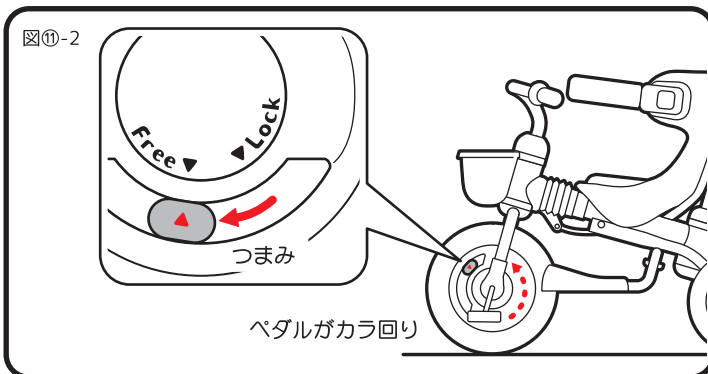
11 ロック&フリーの取り扱い

●ロック状態（ペダルをこぐと前に進む）



● お様がペダルをこいで使用する場合は『つまみ』の▲印を LOCK (ロック) に合わせてください。

●フリー状態（ペダルがカラ回り）



● 保護者の方がコントロールバーで押す場合は『つまみ』の▲印を FREE (フリー) に合わせてください。

つまみをロックにすると・・・
前輪とペダルが連動します。お子様自身がペダルをこいで
ご使用になる場合はこの状態にしてください。

つまみをフリーにすると・・・
前輪とペダルが連動しません。保護者の方がコントロールバー
の操作を行ってもお子様の足を巻き込むことはありません。

フリー機能の説明

フリーにしても前輪とペダルと一緒に回転する場合がありますが、ペダルを手でおさえた状態で前輪が回転すれば異常ではありません。フリー機能はペダルがステップなどに当たっても三輪車が不意に止まったり、お子様がペダルとステップの間に万が一足をはさんでもケガをしないようにするための機能です。

警告

- ロックの状態でもコントロールバーの操作はしないでください。お子様の足を巻き込む恐れがあります。
- お子様在三輪車に乗った状態でのロック&フリーの切り替えは危険です。お子様を三輪車から降ろして、切り替え操作を行ってください。
- 坂道での使用は三輪車が自然に動き出すことがあるので避けてください。

注意

- ロック&フリーの切り替えは、保護者の方が行ってください。
- ご使用になる前は、必ずロック状態、フリー状態の確認を行ってください。
- 水たまりでの使用や雨ざらしでの保管は避けてください。前輪に水がたまる場合があります。故障の原因になります。

重要

本書にそって三輪車の組み立てが完了しましたら、以下の【チェック表】を確認し、最終チェックを行ってください。お子様が三輪車に乗っている状態でチェックしないでください。

【三輪車 組み立てチェック表】

✓チェック

【後輪】

- ☐ ① 両方の後輪を引っ張り、フレームから外れないことを確認してください。

【ハンドル】

- ☐ ② ハンドルを上引っ張って 外れないことを確認してください。

【ステップ】

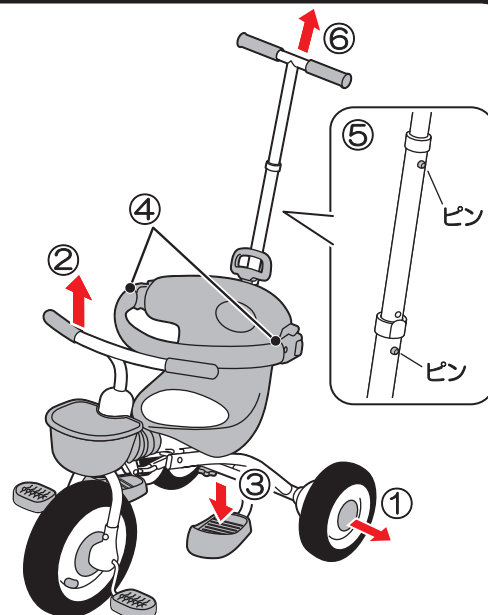
- ☐ ③ ステップを上から押して、外れないことを確認してください。

【安心ガード】

- ☐ ④ 安心ガード左右 (L/R) の取り付けが合っていることを確認してください。

【コントロールバー】

- ☐ ⑤ コントロールバーのピンが穴から出ていることを確認してください。
☐ ⑥ コントロールバーを上方向に引っ張り、抜けなことを確認してください。



品質保証書

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から下記期間中商品の故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お客様相談室にお問い合わせください。

保証規定

1. 一度ご使用になった商品は、お取り替えできません。
 2. 保証期間中(お買い上げ日より1年間)に正常な使用状態において、万一故障した場合には無料で修理、または部品の交換を致します。
 3. 保証期間内でも次のようなものは有料修理になります。
 - (a) 消耗品(タイヤなど)。
 - (b) 本体およびプラスチック部品の自然劣化による変色。
 - (c) お客様の誤使用、または改造や不当な修理による故障および損傷。
 - (d) お客様が紛失された部品。
 - (e) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変による故障および損傷。
 - (f) 本書にシリアル No.、お買い上げ日、お客様名、ご住所、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - (g) 本書の提示がない場合。
 - (h) 一般家庭以外で、業務用やレンタルなどでご使用され故障した場合。
 - (i) 有料修理の場合に要する運賃などの諸経費。
 - (j) ネットオークション、フリマアプリ、リサイクルショップ等で購入された場合。
 4. 本書は日本国内にのみ有効です。海外からの修理サービスは致しかねます。
 5. 製造中止後の商品については必要部品の在庫がなくなった場合、修理できないこともあります。
- お買い上げ後、シリアル No.、お買い上げ日、お客様名、ご住所、販売店名をただちにご記入願います(シリアル No. は、サドル後部のフレームに明記してあります)。
 - 万一故障が生じた場合は保証書をご提示ください。本書は再発行致しませんので大切に保管してください。
 - この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、当社お客様相談室、またはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

商品名 秒でたためる三輪車		シリアルNo.	保証期間 お買い上げ日より1年間 (ただし保証規定による)
お 客 様	お名前		お買い上げ日 年 月 日
	ご住所 〒 TEL.		
販 売 店	店 名	住 所 TEL.	

- 万一商品に不都合がございましたら、お手数ですがシリアルNo.をお確かめの上、お客様相談室までご連絡ください。

アイデス株式会社

【お客様相談室】 ☎ 0120-511457 受付時間(祝祭日を除く月～金曜日) 10:00～12:00 13:00～17:00
【京浜島ドック】 〒143-0003 東京都 大田区 京浜島 2-3-12